



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 タツモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6266 URL <http://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 0866-62-0923

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,879	6.3	480	45.0	408	51.9	250	61.8
2018年12月期第3四半期	12,676	2.4	872	38.3	848	48.3	656	51.7

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 127百万円 (79.9%) 2018年12月期第3四半期 634百万円 (54.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	18.70	
2018年12月期第3四半期	57.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	25,659	9,774	37.5	716.98
2018年12月期	23,878	9,781	40.3	717.85

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 9,625百万円 2018年12月期 9,629百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		11.00	11.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,929	5.8	1,051	34.6	1,025	35.0	801	45.8	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	13,508,300 株	2018年12月期	13,508,300 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	83,560 株	2018年12月期	93,827 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	13,419,966 株	2018年12月期3Q	11,480,523 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(受注状況) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、雇用・所得環境の改善が続き景気は緩やかな回復基調であったものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済のさらなる減速懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、自動化向けなどの電子部品の需要の拡大が見込まれていたものの、中国経済の成長鈍化やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受け設備投資に慎重な姿勢が見られるようになりました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発と積極的な営業を展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は118億79百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益4億80百万円（前年同期比45.0%減）、経常利益4億8百万円（前年同期比51.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億50百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①プロセス機器事業

半導体装置部門につきましては、スマートフォン関連の需要が低迷しておりますが、売上高は18億98百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況ですが、一部の半導体装置メーカーの需要持ち直しにより、売上高は41億59百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

洗浄装置部門につきましては、韓国等海外メーカーの洗浄装置の検収遅延による影響が大きく、売上高は8億54百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

コーター部門につきましては、海外の大型装置の販売減少のため、売上高は15億46百万円（前年同期比52.2%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は84億58百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益3億93百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

#### ②金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、中国経済の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受けたため、売上高は10億40百万円（前年同期比20.6%減）、営業利益6百万円（前年同期比77.2%減）となりました。

#### ③表面処理用機器事業

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板メーカーの設備投資が堅調であったため、売上高は23億81百万円（前年同期比53.4%増）、営業利益87百万円（前年同期比110.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は191億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億20百万円増加しました。これは「たな卸資産」の増加が主な要因であります。有形固定資産は55億11百万円となり、前連結会計年度末より8億10百万円増加しました。これは新社屋の建設及び海外子会社の設備等の増加が主な要因であります。無形固定資産は1億78百万円となり、前連結会計年度末より38百万円増加しました。これは新システム導入による「ソフトウェア」の増加が主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億80百万円増加し、256億59百万円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は119億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億83百万円の増加となりました。これは、「短期借入金」が減少したものの、装置の出荷に伴う「前受金」の増加があったことが主な要因であります。固定負債は38億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3百万円の増加となりました。これは、「長期借入金」の増加が主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ17億87百万円増加し、158億84百万円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は97億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による「利益剰余金」の増加があったものの「為替換算調整勘定」が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2019年2月12日に公表いたしました「平成30年12月期通期決算短信〔日本基準〕（連結）」の2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,755,850	2,209,536
受取手形及び売掛金	3,662,667	3,076,448
電子記録債権	1,487,029	1,632,860
たな卸資産	9,151,253	11,174,386
その他	1,187,061	1,071,507
流動資産合計	18,243,861	19,164,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,063,694	2,338,271
機械装置及び運搬具(純額)	501,568	549,953
土地	1,259,555	1,259,555
その他(純額)	875,671	1,363,482
有形固定資産合計	4,700,489	5,511,263
無形固定資産		
のれん	51,024	20,409
ソフトウェア	83,280	152,057
その他	5,930	5,849
無形固定資産合計	140,235	178,316
投資その他の資産		
投資有価証券	832	975
繰延税金資産	359,970	365,577
その他	434,156	438,831
貸倒引当金	△562	△562
投資その他の資産合計	794,397	804,822
固定資産合計	5,635,121	6,494,402
資産合計	23,878,983	25,659,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,687,618	1,781,406
電子記録債務	1,894,344	1,198,598
短期借入金	3,370,784	1,986,602
未払金	1,144,092	934,101
未払法人税等	224,930	98,281
前受金	2,949,604	5,421,485
賞与引当金	77,285	219,878
製品保証引当金	286,439	221,138
株式給付引当金	9,871	6,730
その他	61,768	122,515
流動負債合計	11,706,740	11,990,738
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,488,367	2,793,366
株式給付引当金	139,991	173,353
役員退職慰労引当金	10,510	13,954
役員株式給付引当金	46,743	53,586
退職給付に係る負債	160,386	176,335
資産除去債務	90,689	124,806
その他	153,627	258,330
固定負債合計	2,390,315	3,893,732
負債合計	14,097,056	15,884,471
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,724,067	2,724,067
資本剰余金	2,645,988	2,645,988
利益剰余金	4,427,308	4,523,945
自己株式	△207,830	△184,748
株主資本合計	9,589,533	9,709,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	51
為替換算調整勘定	40,048	△83,978
その他の包括利益累計額合計	40,045	△83,927
非支配株主持分	152,348	149,345
純資産合計	9,781,927	9,774,670
負債純資産合計	23,878,983	25,659,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,676,752	11,879,855
売上原価	9,138,285	8,903,105
売上総利益	3,538,467	2,976,749
販売費及び一般管理費	2,665,483	2,496,230
営業利益	872,983	480,519
営業外収益		
受取利息	4,389	5,262
補助金収入	34,472	25,878
その他	10,586	19,233
営業外収益合計	49,448	50,374
営業外費用		
支払利息	30,907	38,596
社債利息	420	840
為替差損	19,609	71,857
社債発行費	6,175	—
株式交付費	7,188	—
その他	9,813	11,169
営業外費用合計	74,114	122,463
経常利益	848,317	408,430
特別利益		
固定資産売却益	14,103	9,999
特別利益合計	14,103	9,999
税金等調整前四半期純利益	862,421	418,430
法人税等	188,510	164,917
四半期純利益	673,910	253,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,501	2,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	656,408	250,927



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	673,910	253,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	54
繰延ヘッジ損益	665	—
為替換算調整勘定	△39,865	△126,115
その他の包括利益合計	△39,204	△126,061
四半期包括利益	634,705	127,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619,599	126,954
非支配株主に係る四半期包括利益	15,106	497

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,814,965	1,309,434	1,552,351	12,676,752	—	12,676,752
セグメント間の内部売上 高又は振替高	108,138	52,850	11,696	172,685	△172,685	—
計	9,923,104	1,362,285	1,564,048	12,849,438	△172,685	12,676,752
セグメント利益	801,891	29,439	41,652	872,983	—	872,983

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,458,537	1,040,147	2,381,170	11,879,855	—	11,879,855
セグメント間の内部売上 高又は振替高	138,710	53,508	23,985	216,204	△216,204	—
計	8,597,247	1,093,656	2,405,155	12,096,059	△216,204	11,879,855
セグメント利益	393,704	6,719	87,612	488,036	△7,516	480,519

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	11,418,961	11,246,990	98.5
半導体装置	1,521,945	2,706,710	177.8
搬送装置	4,057,292	4,484,008	110.5
洗浄装置	2,302,549	1,820,417	79.1
コーター	3,537,173	2,235,854	63.2
金型・樹脂成形事業	1,332,283	1,004,643	75.4
表面処理用機器事業	2,451,588	3,839,529	156.6
合計	15,202,834	16,091,163	105.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	11,933,123	12,676,372	106.2
半導体装置	1,911,358	2,408,161	126.0
搬送装置	2,292,377	2,491,014	108.7
洗浄装置	2,820,588	3,228,852	114.5
コーター	4,908,799	4,548,344	92.7
金型・樹脂成形事業	231,159	173,894	75.2
表面処理用事業	1,534,726	3,666,158	238.9
合計	13,699,009	16,516,425	120.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。